

# 研究活動に関する業績報告

2022年2月1日現在

氏名 三宅 一徳

## 1. 研究分野

主な研究領域：臨床検査医学（特に臨床検査情報学）

主な研究スタイル：臨床検査情報の解析による臨床検査有用性の検討と新知見の発掘

## 2. 研究業績（過去5年間）

分類	題名、著者(申請者含む)、発行掲載誌名/発表場所・巻号・頁、発行/発表年月など
①原著論文	<ol style="list-style-type: none"><li>Maki R, Tabe Y, Yamamoto T, Takemura H, Sawada T, Esaki T, Higuchi M, Misawa S, <u>Miyake K</u>, Miida T, Nagai Y, Ohsaka A. Accuracy study of a novel alternate method measuring erythrocyte sedimentation rate for prototype hematology analyzer Celltac. Int J Lab Hematol. 43(4): 588-596, 2021 (査読あり)</li><li>Okubo M, Furuta Y, Nakamura Y, Osawa T, Tada N, Sawada T, Yamatoya K, Sekiguchi Y, Araki Y, <u>Miyake K</u>, Noguchi M, Komatsu N, Ohsaka A. Threshold for optimal administration of plerixafor in autologous peripheral blood stem cell collections through CD34+ cell monitoring based on the experience from two Japanese university hospitals. Ther Apher Dial. 25(5):687-696, 2021 (査読あり)</li><li>Sekiguchi Y, Nishitani M, Takizawa H, Tomita S, Izumi H, Okubo M, <u>Miyake K</u>, Osawa T, Sawada T, Yoshikawa S, Noguchi M. The Current Status of Screening for Essential Thrombocythemia and Polycythemia Vera in Clinical Practice-Report from a Single Institution. Gan To Kagaku Ryoho. 48(1): 63-67, 2021 (査読あり)</li><li>Sekiguchi Y, Iizuka H, Takizawa H, Mitsumori T, Tomita S, Izumi H, Okubo M, <u>Miyake K</u>, Osawa T, Sawada T, Yoshikawa S, Noguchi M. Use of Ibrutinib in 10 Patients with Treatment-Native or Relapsed/Refractory Chronic Lymphocytic Leukemia/Small Lymphocytic Lymphoma in Real-World Clinical Practice -A Report from a Single Medical Institution. Gan To Kagaku Ryoho. 48(7): 921-926, 2021 (査読あり)</li><li>由利麻衣子, 田部陽子, 脇田満, 三澤成毅, 和田了, 田内一民, <u>三宅一徳</u>, 山中健次郎, 佐藤尚武, 小倉加奈子, 佐藤浩一, 吉田幸洋, 高崎芳成, 津田裕士, 児島邦明, 高橋和久, 三井田孝: 順天堂大学医学部附属病院における新型コロナウイルスPCR検査の体制整備と検査状況. 日本臨床検査医学会誌 69(6) 415-419, 2021 (査読あり)</li><li>出居真由美, 濱田千江子, <u>三宅一徳</u>, 田部陽子, 三井田孝: 腹膜透析患者における腹膜劣化の指標. 日本臨床検査医学会誌 69(7) 487-492, 2021 (査読あり)</li><li>海宝まゆ子, 中澤武司, 樋口綾子, 大出恭代, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>, 村田健介, 井</li></ol>

	<p>上貴昭, 佐々木信一: Acinetobacter 属菌のパルスフィールドゲル電気泳動法とリアルタイム PCR 法、シカジーニクス分子疫学解析 POT キット(アシネトバクター属菌)を用いたタイピングの検討. 日本臨床微生物学会雑誌, 30(1), 18-24, 2019 (査読あり)</p> <p>8. Kensuke Murata, Yoshiaki Inoue, Mayuko Kaiho, Takeshi Nakazawa, Shin-ichi Sasaki, <u>Kazunori Miyake</u>, Shigeru Matsuda, Hiroshi Tanaka: Genomic analysis of antibiotic resistance for Acinetobacter baumannii in a critical care center. Acute Medicine &amp; Surgery 7: e445, 1-7, 2019 (査読あり)</p> <p>9. 友田美穂子, 高橋ひろみ, 上東野誉司美, 都築京子, 海原和己, 小松京子, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: 汎用スウィング型遠心機を用いた髄液集細胞塗抹標本作製の検討. 医学検査 67(2), 210-216, 2018 (査読あり)</p> <p>10. 海原和己, <u>三宅一徳</u>, 小松京子, 海老原文, 中山耕之介: ラテックス凝集免疫比濁法による血清 Helicobacter pylori 抗体検出検査の有用性の検討. 臨床病理 Vol.65(7), 773-777, 2017(査読あり)</p> <p>11. 山本剛正, 田部陽子, 石井清, <u>三宅一徳</u>, 岩崎陽介, 増田亜希子, 松下弘道, 堀井隆, 佐藤尚武, 大坂顯通: 炎症指標としての血算・血液像検査の利用状況(臨床医の意識調査結果)と桿状核好中球分類の有用性. 日本検査血液学会雑誌 Vol.18(1), 71-78, 2017(査読あり)</p> <p>12. 澤田朝寛, 常名政弘, 山本剛正, 春日加奈子, 藤巻慎一, 三島清司, 杉山昌晃, <u>三宅一徳</u>, 田部陽子, 三ツ橋雄之, 土屋達行: Cella Vision Proficiency Software(WebPRO)を用いた血液形態学検査 e-ラーニングの試み. 日本検査血液学会雑誌 Vol.18(2), 207-213, 2017(査読あり)</p> <p>13. Mayumi Idei, Yoko Tabe, Chieko Hamada, <u>Kazunori Miyake</u>, Hiroyuki Takemura, Hiroaki Io, Mitsuru Wakita, Takashi Horii, Yasuhiko Tomino, Akimichi Ohsaka, Takashi Miida: Pancreatic lipase activity in overnight effluent predicts high transport status in peritoneal dialysis patients. Clin Chim Acta 462: 65-70, 2016 (査読あり)</p>
②総説	<p>1. <u>三宅一徳</u>【臨床検査の考え方と進め方】(第1章)総論 検体検査の解釈 検査結果に影響する因子 基準範囲、臨床判断値(カットオフ値) 臨床検査の診断特性評価と結果の解釈. Medical Practice 38 卷(臨増) 15-21, 2021 (査読なし)</p> <p>2. <u>三宅一徳</u>: 【現場で使える検査値の読み方】(PART 1)異常な検査値の読み方 急性膵炎で、AMY が上がるのはなぜ? Expert Nurse 37(14): 52-57, 2021 (査読なし)</p> <p>3. <u>三宅一徳</u>: 【EBLM(evidence based laboratory medicine)の新展開】-臨床検査のエビデンス, 臨床検査, 64(5): 566-573, 2020 (査読なし)</p> <p>4. 山浦真由, 吉本晋作, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: 【Q&amp;A で学ぶ 採血の極意】体位により測定値に変化がある項目について教えてください, Medical Technology, 48(1): 38-40, 2020 (査読なし)</p> <p>5. 吉本晋作, 丸橋遼太, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: 臨床医からの質問に答える BNP 検査は採血後何時間まで検査可能でしょうか? 検査と技術 47(12), 1410-1413, 2019 (査読なし)</p>

	<p>なし)</p> <p>6. <u>三宅一徳</u>: 検査値の異常を疾患と結びつけるセンスを磨く!! Essential RCPC(第10回) 糖尿病治療中に熱発と血球減少を認めた 57 歳, 男性. 臨床検査 63(7), 872-876, 2019 (査読なし)</p> <p>7. <u>三宅一徳</u>: 検査値の異常を疾患と結びつけるセンスを磨く!! Essential RCPC(第3回) 溶血所見と血小板減少を示した 22 歳, 男性. 臨床検査 62(5), 666-670, 2018 (査読なし)</p> <p>8. <u>三宅一徳</u>: 今、臨床検査のエビデンスを見直す. 臨床病理 Vol. 65(9), 1046-1050, 2017 (査読あり)</p> <p>9. 濱崎直孝, 細萱茂実, 池田勝義, 植田成, 大澤進, 栢森裕三, 桑克彦, 佐藤正一, 篠原克幸, 末吉茂雄, 関口光夫, 高木康, 永峰康孝, 登勉, <u>三宅一徳</u>, 山本慶和 (日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会): 臨床化学検査における外部精度評価・技能試験提供者に関する指針(外部精度評価・技能試験の標準化指針プロジェクト) 臨床化学 Vol. 46(3), 238-245, 2017 (査読あり)</p> <p>10. 真鍋史朗, 清水一範, 山田修, 堀田多恵子, <u>三宅一徳</u>, 片岡浩巳, 石黒厚至, 山崎雅人, 宮下弘信, 小須田宰, 山田悦司, 康東天: 医療ビッグデータと臨床検査—地域連携・医療情報基盤整備で役立つために—JLAC11 のデザイン. 臨床病理 Vol. 65(4), 482-488, 2017 (査読あり)</p> <p>11. <u>三宅一徳</u>: 【臨床検査スターターズガイド】(2章)検査室 Q&amp;A 生化学・免疫 標準物質と測定試料のマトリックスの違いによる影響を教えてください. 臨床検査 Vol. 61(4), 470-471, 2017 (査読なし)</p> <p>12. 林崇, <u>三宅一徳</u>: 【臨床検査スターターズガイド】(2章)検査室 Q&amp;A その他 パニック値を報告する前に確認しなければならないことは何ですか? 臨床検査 Vol. 61(4), 544-545, 2017 (査読なし)</p> <p>13. <u>三宅一徳</u>: 【膵臓の病気を見逃さない】 アミラーゼとリパーゼを読む. 臨床検査 Vol. 61(6), 742-749, 2017 (査読なし)</p> <p>14. 狩谷敦子, <u>三宅一徳</u>: 臨床医からの質問に答える—赤沈検査の検体はどのくらい保存できますか? 検査と技術 Vol. 45(7), 784-787, 2017 (査読なし)</p> <p>15. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査値 Q&amp;A 検査値が変動する要因としてどのようなものがありますか? また、それらの影響をどのように考え検査値を判読すればいいのでしょうか? 薬局 67(10): 2840-2845, 2016 (査読なし)</p>
③著書	<p>1. <u>三宅一徳</u>: 基準範囲と異常値. 感度・特異度、ROC 曲線とカットオフ値. 血液ガス分析. レジデントのためのこれだけ検査値, 三井田孝, 田部陽子編 (分担執筆), 日本医事新報社, 2-9, 90-94, 2021</p> <p>2. <u>三宅一徳</u>: 尿試験紙検査. 臨床検査ガイド—これだけは必要な検査のすすめかた・データの読み方, 大西宏明編 (分担執筆), 文光堂, 970-972, 2020</p> <p>3. <u>三宅一徳</u>: 腹水. 臨床検査ガイド—これだけは必要な検査のすすめかた・データの読み方, 大西宏明編 (分担執筆), 文光堂, 1028-1032, 2020</p> <p>4. <u>三宅一徳</u>: 21 肺炎. 知っておきたい臨床検査値第 2 版, 日本薬学会編 (分担執筆),</p>

	<p>東京化学同人，東京，85-87，2019</p> <p>5. <u>三宅一徳</u>： 2章1.便潜血（便へモグロビン検査）． がんの臨床検査ハンドブック，山田俊幸，前川真人編（分担執筆），日本医事新報社，東京，40-44，2019</p> <p>6. <u>三宅一徳</u>： 検査データの読み方と考え方． 臨床検査のガイドライン JSLM2018 検査値アプローチ／症候／疾患． 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会編（分担執筆），日本臨床検査医学会，東京，23-26，2018</p> <p>7. <u>三宅一徳</u>： Q04，Q06，Q16，Q25，Q28，Q49． 検査データの？に答えます！ 谷直人編（分担執筆），文光堂，東京，20-21，24-25，44-45，62-63，68-69，110-111，2018</p> <p>8. <u>三宅一徳</u>： 9 <math>\gamma</math>-GT(<math>\gamma</math>-GTP)． 50人の専門医が教える検査と検査値のはなし，（社）日本衛生検査所協会広報委員会編，（社）日本衛生検査所協会，東京，76-77，2018</p> <p>9. <u>三宅一徳</u>： 4 年齢と基準範囲：生化学①.② 50人の専門医が教える検査と検査値のはなし，（社）日本衛生検査所協会広報委員会編，（社）日本衛生検査所協会，東京，116-119，2018</p> <p>10. <u>三宅一徳</u>： 基準値・感度・特異度の概念とその正しい利用法． 臨床検査データブック 2017-2018． 黒川清，春日雅人，北村聖 編，高久史鷹監修，医学書院，東京，9-13，2017</p>
④症例報告	<p>1. Mitsuo Okubo, Eriko Nishida, Akiko Watanabe, Naoto Nishizaki, Kaoru Obinata, Fumihiro Azuma, Mika Matsushashi, Naoko Watanabe-Okochi, Nelson Hirokazu Tsuno, <u>Kazunori Miyake</u>, Minoru Yamaguchi, Koyo Yoshida: Marked thrombocytopenia in a neonate is associated with anti-HPA-5b, anti-HLA-A31, and anti-HLA-B55 antibodies. <i>Pediatr Blood Cancer</i>. 2019 Mar;66(3): e27555. Epub 2018 Nov 28. (査読あり)</p>
⑤口頭発表	<p>1. 橋爪茜，佐伯春美，中澤武司，富田茂樹，<u>三宅一徳</u>，石和久，齊藤啓： 腹膜腫瘍を疑い、腹膜生検で確定診断を得た結核の2例． 日本臨床検査医学会誌 69(補) 180，2021(一般演題，口頭発表)</p> <p>2. 丸橋遼太，林 崇，喜納勝成，<u>三宅一徳</u>，中澤武司，南條友央太，佐々木信一： SARS-CoV-2 RNA ワクチン接種後の血清抗 Spike 抗体定量値の2種試薬での比較． 日本臨床検査医学会誌 69(補) 149，2021(一般演題，口頭発表)</p> <p>3. 出居真由美，山本剛正，堀敦詞，田中君枝，脇田満，平山哲，山谷琴子，上野剛，箕輪健太郎，中田純一郎，松山秀二郎，<u>三宅一徳</u>，三井田孝： Alanine aminotransferase (ALT)とビタミンB6濃度の関連． 日本臨床検査医学会誌 69(補) 90，2021(一般演題，口頭発表)</p> <p>4. 澤田 朝寛，中村 紀子，森本 愛，狩谷 敦子，榎 亮介，伊藤 聡史，多田 直記，喜納 勝成，大久保 光夫，三宅 一徳： 巨核球異形成判別における PLT Matrix の有用性について． 日本検査血液学会雑誌 22 卷(学術集会) S177，2021(一般演題，口頭発表)</p> <p>5. 友田美穂子，上東野誉司美，宗和憲，阿部仁，関根凜太郎，<u>三宅一徳</u>，杉山裕子，中山耕之介： 汎用遠心機を用いた集細胞塗抹標本作製法における体腔液検体の異型</p>

	<p>細胞検出率について. 日本医学検査学会抄録集(70回) 379, 2021(一般演題, 口頭発表)</p> <p>6. 上林慧也, 関田綱基, 小野翔平, 中澤このみ, 海原和己, 阿部仁, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: プレアルブミン測定に影響を及ぼした IgM-<math>\kappa</math> 型 M 蛋白血症. 日本医学検査学会抄録集(70回) 186, 2021(一般演題, 口頭発表)</p> <p>7. 関根凜太郎, 梅原翼, 池上満ちる, 永尾千夏, 海原和己, 阿部仁, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: 汎用シング型遠心機を用いた集細胞法による体腔液集細胞分画比の検討引きガラス法による標準化提案法との比較. 日本医学検査学会抄録集(70回) 166, 2021(一般演題, 口頭発表)</p> <p>8. 関口康宣, 飯塚弘子, 瀧澤春子, 三森徹, 富田茂樹, 泉浩, 大久保光夫, <u>三宅一徳</u>, 大澤俊也, 澤田朝寛, 吉川征一郎, 大倉英浩, 野口雅章: 妊娠中の脳内出血を伴う ET と産褥期の脳梗塞の一例. 日本血栓止血学会誌 32(2) 249, 2021(一般演題, 口頭発表)</p> <p>9. 大澤俊也, 多田直記, 山際里奈, 澤田朝寛, <u>三宅一徳</u>, 大久保光夫: Plerixafor 適正使用のための CD34+細胞に基づく閾値. 日本輸血細胞治療学会誌 67(2) 317, 2021(一般演題, 口頭発表)</p> <p>10. 森本愛, 澤田朝寛, 中村紀子, 伊藤聡史, 多田直記, 槇亮介, 狩谷敦子, 喜納勝成, 大久保光夫, <u>三宅一徳</u>: 自動血球分析装置による網血血小板比率の基礎的検討. 日本検査血液学会雑誌, 21 巻学術集会:S247, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>11. 中村紀子, 澤田朝寛, 森本愛, 狩谷敦子, 多田直記, 槇亮介, 伊藤聡史, 喜納勝成, 大久保光夫, <u>三宅一徳</u>: 自動血球分析装置による網血血小板比率の臨床的有用性. 日本検査血液学会雑誌, 21 巻学術集会: S248, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>12. 藤田彩華, 野口雅章, 関口康宣, 杉元啓二, 坂尻さくら, 瀧澤春子, 飯塚弘子, 澤田朝寛, <u>三宅一徳</u>, 大久保光夫, 富田茂樹, 泉浩, 小松則夫: nodal ganma delta PTCL with FTH 疑いの一例. 日本リンパ網内系学会会誌, 60 巻: 97, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>13. 石野博崇, 野口雅章, 関口康宣, 杉元啓二, 坂尻さくら, 瀧澤春子, 飯塚弘子, 澤田朝寛, <u>三宅一徳</u>, 大久保光夫, 富田茂樹, 泉浩, 小松則夫: TCR<math>\beta</math> 鎖の欠損した AITL の一例. 日本リンパ網内系学会会誌, 60 巻: 97, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>14. 藤岡進也, 野口雅章, 関口康宣, 杉元啓二, 坂尻さくら, 瀧澤春子, 飯塚弘子, 澤田朝寛, <u>三宅一徳</u>, 大久保光夫, 富田茂樹, 泉浩, 小松則夫: CNS 浸潤を認めた前立腺原発 CD5 陽性 DLBCL の一例. 日本リンパ網内系学会会誌, 60 巻: 97, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>15. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 多田直記, 槇亮介, 喜納勝成, 大久保光夫, <u>三宅一徳</u>: 血小板増加と環状鉄芽球を伴う骨髓異形成/骨髓増殖性腫瘍(MDS/MPN-RS-T)の 3 例. 日本医学検査学会抄録集 69 回: 27, 2020(一般演題, 口頭発表)</p> <p>16. 槇亮介, 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 多田直記, 喜納勝成, 大久保光夫, <u>三宅一徳</u>: CD45 陰性を呈した成人 T 細胞白血病/リンパ腫(ATLL)の一例. 日本医学検査学会抄録集 69 回: 28, 2020(一般演題, 口頭発表)</p>
--	--

17. 友田美穂子, 上東野誉司美, 宗和憲, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳, 中山耕之介: 色素析出の少ない Sternheimer 染色液作製法の検討. 日本医学検査学会抄録集 69 回: 332, 2020(一般演題, 口頭発表)
18. 上林慧也, 関田綱基, 小野翔平, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介: 酵素法での測定にて Ca が異常高値を呈した 1 症例. 臨床化学, 49 卷 Suppl.1: 225, 2020(一般演題, 口頭発表)
19. 出居真由美, 阿部雅明, 濱田千江子, 一色美和, 三宅一徳, 田部陽子, 中田純一郎, 鈴木祐介, 樋野興夫, 三井田孝: 腹膜透析患者における腹膜透析排液中の ERC/mesothelin の経時的変化. 臨床化学, 49 卷 Suppl.1: 229, 2020(一般演題, 口頭発表)
20. 米倉あゆみ, 林崇, 吉本晋作, 喜納勝成, 三宅一徳: 医師別検体検査依頼数分布と過去の採血件数分布をカルマンフィルタで融合させた採血患者数高精度予測の試み. 臨床病理, 68 卷補冊: 158, 2020(一般演題, 口頭発表)
21. 瀧口隼人, 横山大輔, 丸山強, 加藤大樹, 佐藤良平, 石井利明, 川崎健治, 曾根伸治, 盛田俊介, 三宅一徳, 松下一之, 下澤達雄: 甲状腺ホルモン(TSH, FT3, FT4)の測定機器間差の比較検討. 臨床病理, 68 卷補冊 179, 2020(一般演題, 口頭発表)
22. 由利麻衣子, 田部陽子, 脇田満, 三澤成毅, 和田了, 田内一民, 三宅一徳, 山中健次郎, 佐藤尚武, 小倉加奈子, 佐藤浩一, 吉田幸洋, 高崎芳成, 津田裕士, 児島邦明, 高橋和久: 順天堂大学医学部附属 6 病院における新型コロナウイルス PCR 検査の体制整備と検査状況. 臨床病理, 68 卷補冊: 187, 2020(一般演題, 口頭発表)
23. 橋爪茜, 佐伯春美, 中澤武司, 富田茂樹, 三宅一徳, 石和久, 齊藤啓: 白血病治療中に、細胞診にて Mucor を認めた 1 例. 臨床病理 68 卷補冊: 282, 2020(一般演題, 口頭発表)
24. 関田綱基, 鈴木暁, 上林慧也, 小野翔平, 滝澤久暢, 海原和己, 小松京子, 海老原文, 三宅一徳, 中山耕之介: 臨床検査におけるピットフォール事例報告・討論会 2019 がん専門病院における日常検査で検出された腫瘍マーカーの非特異反応の解析. 日本臨床化学会, 仙台(9/27-29), 臨床化学 48(Suppl.1), 137, 2019 (シンポジウム)
25. Shohei Ono, Hisanobu Takisawa, Konomi Nakazawa, Yuno Suzuki, Tsunaki Sekita, Kazumi Kaihara, Kyoko Komatsu, Kazunori Miyake, Konosuke Nakayama: Assessment of the Basic Performance of a Novel Soluble IL-2R (sIL-2R) Reagent for Measurement with CLEIA. The 57th Congress of the Korean Association of Medical Technologists and International Conference, PyeongChang, Korea, August 30-31, 2019(一般演題)
26. Mayumi Idei, Chieko Hamada, Yoko Tabe, Masaaki Abe, Kazunori Miyake, Okio Hino, Takashi Miida: Effluent ERC/mesothelin is associated with peritoneal deterioration in peritoneal dialysis patients. The 9th Asia Pacific Chapter Meeting of International Society for Peritoneal Dialysis (APCM-ISP2019), Nagoya, Japan (9/5-7), p145, 2019(一般演題)

27. 大久保光夫, 澤田朝寛, 森本愛, 長谷川栄子, 伊藤聡史, 多田直記, 上松由佳, 山際里奈, 槇亮介, 若林睦, 杉本啓二, 瀧澤春子, 飯塚弘子, 坂尻さくら, 関口康宣, 喜納勝成, 野口雅章, 三宅一徳, 大坂顯通: 前日 CD34 陽性細胞数と採取効率からみたプレリキサホルの投与指標. 日本輸血細胞治療学会誌, 65(2), 350, 2019(一般演題)
28. 槇亮介, 澤田朝寛, 伊藤聡史, 中村紀子, 森本愛, 多田直記, 狩谷敦子, 大久保光夫, 野口雅章, 三宅一徳: 慢性骨髄性白血病慢性期(CML-CP)にびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)が合併した一例. 日本検査血液学会雑誌 20 S96, 2019(一般演題)
29. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 槇亮介, 伊藤聡史, 多田直記, 狩谷敦子, 喜納勝成, 大久保光夫, 三宅一徳: 巨核球異形成判別における血小板関連項目の有用性について. 日本検査血液学会雑誌 20, S105, 2019(一般演題)
30. 森本愛, 澤田朝寛, 中村紀子, 伊藤聡史, 多田直記, 槇亮介, 狩谷敦子, 喜納勝成, 大久保光夫, 三宅一徳: 骨髄所見を観察しえた Spur cell anemia の一例. 日本検査血液学会雑誌, 20, S180, 2019(一般演題)
31. 出居真由美, 上野剛, 西岡笑子, 牧野真太郎, 平山哲, 一色美和, 堀内裕紀, 三宅一徳, 三井田孝: 妊婦における JSCC 法と IFCC 法によるトランスアミナーゼ活性値の比較. 日本臨床化学会, 仙台(9/27-29), 臨床化学. 48(Suppl. 1), 253, 2019(一般演題)
32. 橋爪茜, 佐伯春美, 中澤武司, 富田茂樹, 三宅一徳, 石和久: 肺から皮膚に播種した Mycobacterium abscessus 症の 1 例. 日本臨床検査医学会, 岡山(11/21-24), 臨床病理 67(補) 292, 2019(一般演題)
33. 多田直記, 大久保光夫, 中村紀子, 長谷川栄子, 森本愛, 狩谷敦子, 伊藤聡史, 澤田朝寛, 喜納勝成, 三宅一徳, 若林睦, 杉元啓二, 瀧澤春子, 飯塚弘子, 坂尻さくら, 関口康宣, 野口雅章, 大坂顯通: プレリキサホル製剤(商品名モゾビル)使用による自家末梢血幹細胞採取の経験. 日本輸血細胞治療学会誌 6(2) 445, 2018(一般演題)
34. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 狩谷敦子, 喜納勝成, 大久保光夫, 三宅一徳: 血小板凝集における平均血小板成分濃度(MPC)の評価について. 日本医学検査学会抄録集 67回 135, 2018(一般演題)
35. 徳永知子, 志賀 太郎, 高橋萌佳, 依田麻里奈, 小松 京子, 三宅一徳, 海老原文, 中山耕之介: がん化学療法に伴う冠攣縮性狭心症発作を長時間ホルター心電図で捉えた一例. 日本医学検査学会抄録集 67回 66, 2018(一般演題)
36. 友田美穂子, 上東野誉司美, 宗和憲, 永島公子, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳, 中山耕之介: Samson 染色において髄液中にヘパリン添加時と類似した析出物を認めた副鼻腔腫瘍の一例. 日本医学検査学会抄録集 67回 380, 2018(一般演題)
37. 森本愛, 澤田朝寛, 中村紀子, 狩谷敦子, 伊藤聡史, 多田直記, 喜納勝成, 大久保光夫, 野口雅章, 三宅一徳: 難治性自己免疫性溶血性貧血(AIHA)の経過中に異常細胞出現を認めた骨髄原発性B細胞性リンパ腫の一例. 日本検査血液学会雑誌 19(学術集会) S153, 2018(一般演題)
38. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 狩谷敦子, 伊藤聡史, 多田直記, 喜納勝成, 若林睦, 大久保光夫, 三宅一徳: 自動血球分析装置の血小板測定用試薬による直接希釈

	<p>が有効であった偽性血小板減少症の1例. 日本検査血液学会雑誌 19(学術集会) S161, 2018(一般演題)</p> <p>39. 水野奈々, 大石ひとみ, 都築京子, 梅原翼, 関根凜太郎, 池上満ちる, 海原和己, 小松京子, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: 骨髓標本中に Histiocytic neoplasm 由来の細胞が認められた1症例. 日本検査血液学会雑誌 19(学術集会), S177, 2018(一般演題)</p> <p>40. 海原和己, 関田綱基, 滝澤久暢, 鈴木悠乃, 中澤このみ, 小野翔平, 福原綾香, 小松京子, 林嵩, 沼尾昇, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: 新規ホルモン治療薬投与による血中テストステロン測定値への影響. 日本臨床検査自動化学会誌 43(4), 469, 2018(一般演題)</p> <p>41. 小野翔平, 滝澤久暢, 福原綾香, 中澤このみ, 鈴木悠乃, 関田綱基, 海原和己, 小松京子, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: CLEIA 法による新規可溶性 IL-2R(sIL-2R)測定試薬の基本性能評価. 日本臨床検査自動化学会誌 43(4), 503, 2018(一般演題)</p> <p>42. 関田綱基, 小野翔平, 福原綾香, 中澤このみ, 鈴木悠乃, 滝澤久暢, 海原和己, 小松京子, 海老原文, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: がん専門病院における日常検査で検出されたバイオマーカーの非特異反応の解析. 臨床化学 47(Suppl.1), 245, 2018(一般演題)</p> <p>43. 関田綱基, 小野翔平, 福原綾香, 中澤このみ, 鈴木悠乃, 滝澤久暢, 海原和己, 小松京子, 海老原文, <u>三宅一徳</u>, 中山耕之介: がん専門病院における日常検査で検出されたバイオマーカーの非特異反応の解析. 臨床化学 47(Suppl.1), 383, 2018(一般演題)</p> <p>44. 出居真由美, 阿部雅明, 濱田千江子, 一色美和, <u>三宅一徳</u>, 田部陽子, 樋野興夫, 三井田孝: 腹膜透析排液中の ERC/mesothelin の腹膜劣化指標としての有用性の検討. 臨床病理 66 巻(補): 163, 2018(一般演題)</p> <p>45. 海宝まゆ子, 中沢武司, 喜納勝成, 大出恭代, 樋口綾子, 佐々木信一, <u>三宅一徳</u>: MALDI-TOF MS による Acinetobacter spp. 臨床分離株の解析. 第66回日本医学検査学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回, 26, 2017(一般演題)</p> <p>46. 狩谷敦子, 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 長谷川栄子, 伊藤聡史, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: 塗抹標本上で著明な白血球凝集を認めながら偽性白血球減少症を認めなかった1例. 第66回日本医学検査学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回, 152, 2017(一般演題)</p> <p>47. 伊藤聡史, 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 長谷川栄子, 狩谷敦子, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: 多発性骨髄腫治療中に骨髄異形成症候群を合併した1症例. 第66回日本医学検査学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回, 154, 2017(一般演題)</p> <p>48. 川名孝幸, 林崇, 江崎利恵子, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: 汎用自動分析装置を用いた血中タクロリムス測定試薬の検討. 第66回日本医学検査学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回, 165, 2017(一般演題)</p> <p>49. 飯田翼, 徳永知子, 永野恵子, 加治屋珍, 中田満ちる, 丸山淳子, 小松京子, <u>三宅一徳</u>: トレッドミルを使用した定量負荷心電図における負荷量指標としての負荷後 DP の意義. 第66回日本医学検査学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回, 325, 2017(一般演題)</p> <p>50. 高橋ひろみ, 友田美穂子, 上東野誉司美, 宗和憲, 小松京子, <u>三宅一徳</u>: がん専門病院における尿沈渣検査での異型細胞検出割合とその特性. 第66回日本医学検査</p>
--	---

	<p>学会, 千葉市(6/16-6/18), 日本医学検査学会抄録集 66 回 404, 2017(一般演題)</p> <p>51. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本愛, 狩谷敦子, 長谷川栄子, 伊藤聡史, 喜納勝成, <u>三宅一徳</u>: カバーガラス法による血小板凝集確認法の有用性. 第 18 回日本検査血液学会学術集会, 札幌市(7/22-7/23), 日本検査血液学会雑誌 Vol. 18 卷(学術集会) S137, 2017(一般演題)</p> <p>52. 橋爪茜, 佐伯春美, 中澤武司, 富田茂樹, <u>三宅一徳</u>, 石和久, 齊藤啓: 乳腺基質産生癌(Metaplastic carcinoma)の 2 例. 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会, 京都市(11/16-11/19), 臨床病理 Vol. 65 卷(補冊) 181, 2017(一般演題)</p> <p>53. 出居真由美, 田部陽子, 阿部雅明, 濱田千江子, 一色美和, <u>三宅一徳</u>, 樋野興夫, 三井田孝: 腹膜透析排液中の ERC/mesothelin と腹膜機能の関係. 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会, 京都市(11/16-11/19), 臨床病理 Vol. 65(補冊) 155, 2017(一般演題)</p> <p>54. <u>三宅一徳</u>: 今、臨床検査のエビデンスを見直す. 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸(9/1-9/4) 臨床病理 64(補冊) np27, 2016 (教育講演)</p> <p>55. Sekita T, Kaihara K, Komatsu K, Nakayama K, <u>Miyake K</u>: Discrepancy between serum agarose gel electrophoresis and immunofixation pattern- An analysis of a case of M-proteinemia. The 32nd congress of Biomedical Laboratory Science, Kobe, Japan (8/31-9/4) p79, 2016 (一般演題, 優秀演題賞)</p> <p>56. 森本 愛, 澤田 朝寛, 中村 紀子, 狩谷 敦子, 伊藤 聡史, 長谷川 栄子, 喜納 勝成, <u>三宅 一徳</u>: FC 管採血が血小板関連項目に与える影響. 日本検査血液学会雑誌 17 卷学術集会 S163, 2016 (一般演題)</p> <p>57. 中村紀子, 澤田朝寛, 森本愛, 狩谷敦子, 伊藤聡史, 長谷川栄子, <u>三宅一徳</u>: ADVIA2120i 関連項目を用いた末梢血幹細胞採取量の予測について. 日本検査血液学会雑誌 17 卷学術集会 S130, 2016(一般演題)</p> <p>58. 出居真由美, 田部陽子, 阿部雅明, 濱田千江子, <u>三宅一徳</u>, 樋野 興夫, 三井田孝: 腹膜透析患者における N-ERC/mesothelin および C-ERC/mesothelin の検討. 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸(9/1-9/4) 臨床病理 64 卷(補冊) 8-25, 2016(一般演題)</p> <p>59. 橋爪茜, 佐伯春美, 富田茂樹, 中澤武司, 齊藤啓, <u>三宅一徳</u>, 石 和久: 当院での過去 5 年間に於けるニューモシスチスカリニ (P. jirovecii) DNA 検査陽性例の、臨床病理学的検討. 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸(9/1-9/4) 臨床病理 64 卷(補冊)5-8, 2016(一般演題)</p> <p>60. 海原和己, 中山耕之介, 海老原文, 小松京子, <u>三宅一徳</u>: 循環器バイオマーカーによるがん化学療法を起因とする心障害早期検出能の検討. 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸(9/1-9/4) 臨床病理 64 卷(補冊) 4-78, 2016(一般演題)</p> <p>61. 澤田朝寛, 中村紀子, 森本 愛, 狩谷敦子, 長谷川栄子, 西崎直人, 田所愛弓, <u>三宅一徳</u>: 血小板関連 IgG (PAIgG) が出生後に上昇した新生児血小板減少症の 1 例. 第 65 回日本医学検査学会学術集会, 神戸(9/2-3) 日本医学検査学会抄録集 65 回: 10-46(436), 2016(一般演題)</p> <p>62. 友田美穂子, 高橋ひろみ, 上東野誉司美, 山越恵梨香, 小松京子, <u>三宅一徳</u>: 尿沈渣作製用遠心機を用いた髄液検体のオートスマア標本作製法の検討(第 2 報). 第 65 回日本医学検査学会学術集会, 神戸(9/2-3) 日本医学検査学会抄録集 65 回 8-15(371), 2016(一般演題)</p> <p>63. 永野恵子, 徳永知子, 井合律子, 任珍, 中田満ちる, 飯田翼, 海老原文, <u>三宅一</u></p>
--	--

	<p><u>徳</u>：食道がんにおける胸骨後胃管挙上再建術後に心電図で ST 上昇を認めた 3 症例. 第 65 回日本医学検査学会学術集会, 神戸(9/2-3) 日本医学検査学会抄録集 65 回 7-57(279), 2016(一般演題)</p> <p>64. 猪野由美子, 小松美樹, 篠崎英司, 三宅一徳, 三木義男: 当院における MEBGEN RASKET キットによる RAS 遺伝子変異検査の実績と評価. 日本臨床検査自動化学会第 48 回大会, 横浜 (9/22-24) 日本臨床検査自動化学会会誌 41(4): 531, 2016(一般演題)</p>
⑥その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査の外部精度保証と各種認定事業. 2021 年度日本臨床検査医学会 臨床検査管理医講習, 東京(8/22), 2021</li> <li>2. <u>三宅一徳</u>: がんの診断・臨床検査値の評価. がん CRC 講習. EP 総合, 東京(Web), 2021</li> <li>3. <u>三宅一徳</u>: 一般検査の知見・経験をエビデンスにしようー一般検査で使えるデータ集計と統計. 第 18 回 USC 研究会, 東京(6/26), 2021 (教育講演)</li> <li>4. <u>三宅一徳</u>: 臨床化学一般検査. 令和 2 年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告会, 日本医師会, 東京(Web), 2021</li> <li>5. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 令和 2 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都福祉保健局医療政策部, 東京(Web), 2021</li> <li>6. <u>三宅一徳</u>: 臨床化学一般検査. 令和 1 年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告会, 日本医師会, 東京(Web), 2020</li> <li>7. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 令和 1 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都福祉保健局医療政策部, 東京(Web), 2020</li> <li>8. <u>三宅一徳</u>: 臨床化学一般検査. 平成 30 年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告会, 日本医師会, 東京(3/2), 2019</li> <li>9. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 平成 30 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都福祉保健局医療政策部, 東京(3/16), 2019</li> <li>10. <u>三宅一徳</u>: RCPC で学ぶ臨床化学データの考え方. 東京都臨床検査技師会化学検査研究班, 東京(5/29), 東京都医学検査 47(3) 183, 2019</li> <li>11. <u>三宅一徳</u>: 臨床化学一般検査. 平成 29 年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告会, 日本医師会, 東京(3/2), 2018</li> <li>12. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 平成 29 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都福祉保健局医療政策部, 東京(3/16), 2018</li> <li>13. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査診断特性評価と精度管理. 第 88 回日本臨床検査専門医会教育セミナー, 東京(5/20), 2018</li> <li>14. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査の精度管理事業. 2018 年度日本臨床検査医学会 臨床検査管理医講習, 東京(8/5), 2018</li> <li>15. <u>三宅一徳</u>: 臨床化学一般検査. 平成 28 年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告会, 日本医師会, 東京(3/2), 2017</li> <li>16. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 平成 28 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都福祉保健局医療政策部, 東京(3/24), 2017</li> <li>17. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査診断特性評価と精度管理. 第 87 回日本臨床検査専門医会教育セミナー, 東京(5/21), 2017</li> <li>18. <u>三宅一徳</u>: 臨床検査の精度管理事業. 2017 年度日本臨床検査医学会 臨床検査管理医講習, 東京(11/3), 2017</li> <li>19. <u>三宅一徳</u>: 生化学的検査. 平成 27 年度東京都衛生検査所精度管理講習会, 東京都</li> </ol>

	<p>福祉保健局医療政策部，東京(3/16)，2016</p> <p>20. <u>三宅一徳</u>：臨床検査診断特性評価と精度管理．第85回日本臨床検査専門医会教育セミナー，東京(5/22)，2016</p> <p>21. <u>三宅一徳</u>：臨床検査の精度管理事業．2016年度日本臨床検査医学会 臨床検査管理医講習，東京(10/2)，2016</p>
--	--

3. 外部研究費（過去5年間）

外部研究費、代表分担区分、期間、研究経費